【切手デザイン】

日本国内に現存する飛行場として最も長い歴史があり、航空自衛隊の戦闘機や輸送機、装備品の研究開発・試験を行う部隊、「飛行開発実験団」を擁する岐阜基地。航空自衛隊が運用する機種の大部分が配備され、岐阜基地ならではの、飛行開発実験団所属機による「異機種大編隊」の展示飛行をはじめ、各機が飛行する様子をデザインとして採用しています。